ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

2022（令和 4）年 4 月 15 日 報道発表資料

《継承と創造》「宮古・八重山・琉球の芸能」

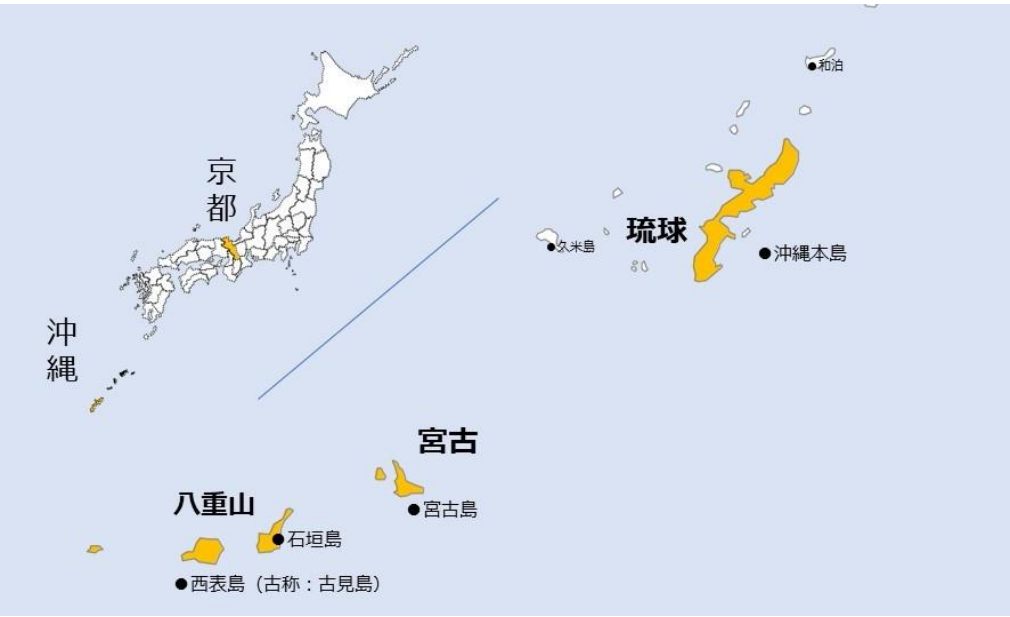
古から現代まで、おきなわ三地域の舞踊と唄
2022 年 2 月の公演延期を経て、GW 期間に開催！

2022 年 4 月 29 日（金・祝）、 5 月 3 日（火・祝）
ロームシアター京都　サウスホール

ロームシアター京都では 2017 年より伝統芸能の継承と創造を目指すシリーズ「舞台芸術としての伝統芸能」を継続実施しており、2021 年度からはそのシリーズを発展、新たな名称を«継承と創造»とし、古典芸能だけでなく、地域で継承されてきた民俗（郷土）芸能にもフォーカスする新たな取り組みを行います。今回はリニューアル版の初回として、2021 年 10 月に開館した那覇文化芸術劇場なはーとと共に、沖縄の芸能を通し、人の暮らしに根差した民俗芸能の魅力を紹介いたします。上演の前後では演目への理解が深まるよう、監修者によるトークの実施など、充実のプログラムです。

［本リリースに関するお問合せ先］
ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団） 広報担当：松本、山形
電話：075-771-6051（9：00～17：00） FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekyoto.jp

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp



“おきなわ”三地域の芸能を一挙に見られる貴重な機会！

多数の島々からなる“おきなわ”では、豊かな自然の恩恵と猛威と共生する人々によって地域ごとに多様な歴史と文化が受け継がれてきました。その中でも宮古・八重山・琉球の 3 地域は特に、“おきなわ”を一括りにはできない多彩な芸能が先人より継承され、今もなおあらたに創造され続けています。

今回の上演は、時代の波をくぐり、人々の生活や自然と共に育まれてきた身体と声を一挙にご覧いただける機会です。京都が培ってきた文化・伝統に応えるように、各地域から多彩なプログラムが集まりました。宮古からは、島の生活・歴史・あらたな創造を一望できるような演目が揃い、八重山からは、石垣島・西表島の外にはほとんど出たことのない唄や踊りが今回の企画のために特別に舞台に上がり、琉球からは、かつて首里城の宮廷でのみ上演されていた特別な曲目が 155 年の時を経て京都の地で復活します。それらを唄い、踊り、奏で、舞うのは、各地域を代表するさまざまな世代の演者たちです。京都と那覇の 2 劇場の共同企画だからこそ実現した特別なプログラム。おきなわの島々に受け継がれてきた「芸能」と京都の「伝統」が出会い、共鳴しあい、あらたな文化の交流が生まれるでしょう。

著名人からも応援コメントをいただきました！

☞こちら

・宮沢和史さん（シンガーソングライター）
・新井敏記さん（SWITCH、COYOTE 編集長）
・角松敏生さん（シンガーソングライター、音楽プロデューサー）
・楳茂都梅衣華さん（上方舞）
・夏川りみさん（歌手）

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

■プログラム

撮影：仲程長治

4月29日（金・祝）

宮古の芸能　太平（たいへい）に踊（ぶどう）ら　大世（うぶゆう）に舞（もう）ら

平坦な地形であることから、雨が留まらず水不足に悩まされてきた宮古島。雨を待ち望むことから生まれた**「声合（クイチャー）」は宮古の芸能の代表的演目**であり、その他にも人々の営みを想わす歌や踊りがあります。今回は**テーマを「水」**としプログラムを構成。**宮古島を代表する演者が集結し、多彩な芸能をお届けします。**

出演｜
［宮古島創作芸能団 んきゃーんじゅく］
友利礼・前里玲毅・真壁弘汰・友利叶夢・久高歩眸・与那覇礼夢
［琉球舞踊穂花会・宮古舞踊 んまてぃだの会］
亀浜律子・神里桐子・川満香多・瀬名波令奈・砂川徳博・砂川政秀・下地心一郎・砂川博仁
［久田流家元・久田多嘉子舞踊研究所］
久田亜也・与儀優子
［唄・三線］
與那城美和

監修｜前里昌吾（「宮古島創作芸能団 んきゃーんじゅく」プロデューサー）

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

撮影：仲程長治

4月29日（金・祝）

八重山の芸能　世果報（ゆがふ）- ばがけーら島（すぃま）とぅとぅむ-

八重山諸島の中心地である**石垣島、西表島は沖縄本島から400kmと離れた島々**であり、台湾の方が距離としては近い。今回は**神前や農作業の場で謡われたシラバやユンタ**、**首里王府の宮廷舞踊の影響を受け成立した八重山舞踊**、**西表島・古見地域の古見の浦節**などで構成。厳しい環境の中生きた先人より伝わる、力強さと気品を感じさせる芸能の数々が揃います。

出演｜
山里節子・大田静男・廣田律子・大浜賢二
大田八重子・西島本寿乃 石垣島
［光扇会大浜治子八重山民俗舞踊研究所］ 石垣島
大浜治子・金城悦子・新城那緒子・前浜邦子・山根頼子
［古見民俗芸能保存会］ 西表島
新盛和枝・小橋川和美・石原孝子・林良子・仲嶺科子・宮里朝枝・前元光代・大底美紀
［八重山古典民謡保存会］ 石垣島
三線：野原政俊・大浜安則
笛：近藤嘉紀　太鼓：根原格
監修｜大田静男（八重山芸能研究者）

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

撮影：仲程長治

5月4日（火・祝）

琉球の芸能　冊封宴（さくほうえん）の歌　－北宮十二頌曲（ほっきゅうじゅうにしょうきょく）－

今回上演する**「北宮十二頌曲」**は、琉球王国時代に中国皇帝より派遣された使者をもてなす宴で響いた**琉歌**（りゅうか）です。**本来は歌のみであるところ、今回はあらたな創造として、現代の琉球舞踊家が宮中儀礼独特の世界観を「踊」で表現した作舞が加わる、特別なプログラム。現代に生きる宮廷芸能の典雅な姿**をお見せします。

出演｜
［舞踊］
佐辺良和（作舞）・宮城茂雄（作舞）
伊波留依・髙里風花・仲嶺夕理彩・宮崎花澄
［歌三線］
新垣俊道・棚原健太・島袋奈美・親川遥
［胡弓］
森田夏子
監修｜遠藤美奈（沖縄県立芸術大学准教授）

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

■公演概要

日時：2022 年 4 月 29 日（金・祝）・5 月 3 日（火・祝）

4 月 29 日（金・祝）13:00 開演　宮古の芸能/八重山の芸能

5 月 3 日（火・祝）16:00 開演　琉球の芸能

※両日上演終了後にアフタートークがございます

※両日託児サービスあり

会場：ロームシアター京都　サウスホール

チケット料金：

全席指定 一般 3,500 円 / ユース（25 歳以下）2,000 円 、（18 歳以下）1,000 円

※両日同料金

【お得な 2 日間通し券】

一般 6,000 円 ／ 25 歳以下 3,000 円

※18 歳以下対象の 2 日間通し券は販売いたしません。

※未就学児童の入場不可

※ユースチケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

チケット取扱：

□オンラインチケット 24 時間購入可※要事前登録（無料）

https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/

□ロームシアター京都チケットカウンター

TEL.075-746-3201（窓口・電話とも 10:00～19:00／年中無休※臨時休館日を除く）

□京都コンサートホールチケットカウンター

TEL.075-711-3231（窓口・電話とも 10:00～17:00／第 1・3 月曜日休館※休日の場合は翌日）

ほか、チケットぴあ、でも取扱いあり

主催：京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

後援：沖縄県立芸術大学

企画：ロームシアター京都、那覇文化芸術劇場なはーと